

超精密ガラス部品を切断～研磨～蒸着まで 社内一貫処理により提供

株式会社吉城光科学 (福島県須賀川市)

会社概要

本社：福島県須賀川市横山町 119 番地
 設立：昭和 44 年 7 月
 資本金：4,450 万円
 代表者：吉田 尚正
 従業員：100 名
 電話番号：0248-75-1890
 URL：http://www.kishiro.co.jp/index.html



会社外観

企業紹介



- 複写機やスキャナー用反射ミラー、DVD・ブルーレイディスクのピックアップ部品など、OA 機器には欠かせない超精密ガラス部品の加工を手がける。
- 特にコピー機用反射ミラーはほぼすべての国内メーカーに納品している主力製品。アイテム数は 300 種類にもおよび、世界シェアの約 60%を占める。
- 香港に現地法人を開設しているほか、広東省東莞市、上海、ベトナムに工場を所有し、現地での生産も積極的に進めている。

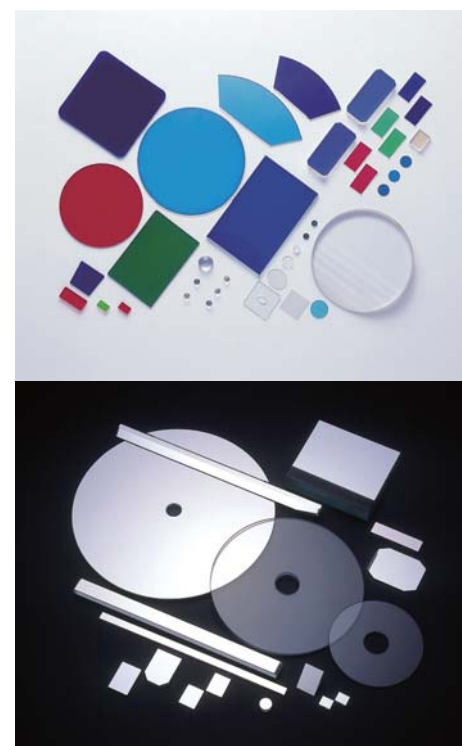
事業・商品の概要

【超精密ガラス部品】

・切断・研磨・蒸着・検査の工程を自社で一貫処理することで、多種多様な形状の部品に対応。また表面のコーティングについても自社で手がけるため、光学フィルターなど光の透過レベルを自在に調整、顧客のニーズに即応することができる。

【UHR ミラー】

・低コスト化と環境負荷減の両面から研究を進め、アルミニウムをベースとする反射率 99% の超高反射ミラー (UHR) を開発。コピー機等の部品として採用されている。



企業の将来像

- 今後も大手が参入しないニッチな新規分野で、これまで蓄積してきた技術の延長線上にある製品の開発を目指す。
- 新たに射出成型機を導入し、ガラス製品をプラスチック部品と組み合わせユニットとして納品できる体制を構築する。
- 今後の成長が見込める医療機器分野に関しては、カテーテルのバルーンに金、白金を生成する薄膜スパッタ技術を大学等と共同研究するなど、次代へ研究開発投資を行っていく。
- また、自動車関連としてフロントウィンドーの一部に情報を投影するヘッドアップディスプレイ用のガラスの開発を進める。

新事業・新商品開発可能性

いま見えている姿

さらなる広がり



知的財産 (主な特許・ノウハウ・ライセンスなど)

■特許

- ・保持治具、薄膜形成装置、及び薄膜形成方法 (特許第 5031512 号) / 株式会社リコーとの共有
- ・ミラー、光操作装置及び画像形成装置 (特許第 5142372 号) / 株式会社リコーとの共有
- ・収容ケース (特許第 5203671 号) / 株式会社リコーとの共有

■表彰・受賞歴

- ・経済産業省中小企業庁 「モノ作り中小企業 300 社」 (2003 年)
- ・公益社団法人中小企業研究センター 「グッドカンパニー大賞」 (2010 年)

